

回答書

2023年度-2025年度課題別研修「稲作技術向上（普及員）（A）」コース研修委託業務（筑波センター）（公示日：2023年9月29日）について、配布しました企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 17	第2 9. (3) 在外補完プログラム	在外補完プログラムに関しては見積もりに含まなくてもよいとあるが、研修プログラムとスケジュール案の中では組み込んだうえでプロポーザルを作成するという理解でよろしいか。	スケジュール案には在外補完プログラムの日程を組み込んでください。ただし、その実施に係る費用が見積もり額に含まれていないことが明確になるように記載してください。
2	P. 18	第2 9. (3) 在外補完プログラム	「実施内容についての主体责任は JICA 」とあるが、これには参加する研修員および同行する業務総括者等において、在外補完プログラム実施国内で万が一発生した事故けが疫病感染への対応も含まれているか（例 緊急時のチャーター便等のアレンジは受託者側ではなく JICA 側が行うのか）。	在外補完プログラム実施中の緊急時の対応は、基本的にJICAが実施することを想定しています。
3	P. 19	第2-2 1. 研修施設	既存の実験室（スタディ棟2階）が使用できないとあるが、この実験室は土壌分析や病理の顕鏡観察等を行う場所と理解していた。従って今回の公示案件では、既存の実験室にすでに備えてある実験器具や顕微鏡などは使用できるという前提で、既存の実験室以外の場所で土壌分析や顕微鏡観察等を実施すると理解してよろしいか。	実験室にある既存の実験器具・顕微鏡などを、受託者の指導のもとで研修でご活用いただくことは問題ございません。またその使用場所としてスタディ棟2階の実験室をご活用いただくことも現時点では可能ですが、今後の資機材の追加購入や修理・更新は困難となる可能性がございます。

以上